

議題②「小中学校 ICT 事業の方向性について」説明概要

1 目標「子どもの生き抜く力を育み、成長を支える」 近江八幡市教育大綱

- 創意工夫し、問題解決できる力を育成します
- 教員の指導力と学校の組織力の向上に努め、安全で安心な信頼される学校づくりを目指します
- 子どもの教育環境の整備・充実を図ります

2 本市における学校 ICT 整備状況と課題

(1) 整備状況

- 平成 21・22 年度 電子黒板・ノート PC、実物投影機 (全校・普通教室)
- 平成 27 年度 タブレット PC (研究校 3 校)

(2) 成果と課題

- 教員および児童へのアンケートでは、ICT を活用した授業に非常に肯定的
 - 電子黒板とタブレット PC を併用することにより、従来ではできなかった学習方法が可能となった。
- ※ 機器老朽化による不具合がある。
- ※ 授業へ効果的に活用するためには、機器操作だけではなく、ICT の特性を見極めたうえで、授業への道具として活用できる能力が必要。

3 本市における教育情報化目標

(1) 児童生徒の実態

- 根拠に基づく説明
- 思考力・判断力・表現力
- 情報の整理・関連づけ

(2) 目標

- 児童生徒の学習への興味・関心を高め、理解を深める。
- 児童生徒が教えあい学び合う協働的な学習を展開し、思考力・表現力を高め、学力向上につなげる。
- 発達に障がいのある児童生徒への教育的支援として ICT を活用し、児童生徒の可能性を広げる。

4 学校 ICT 環境整備の方針 (案)

- 「いつでも・どこでも・誰でも」
- 「シンプル」
- 学校間ネットワークによる連携強化
- ◆ 「使うこと」が目的ではなく、子どもの生き抜く力を育み、成長を支えるため ICT を効果的に活用できることを目指すために段階的に整備する。

【段階的整備】

教員用機器整備→児童・生徒用機器整備→普及・共有→評価・総括→次期方針・計画への展開